

ネットワークによる運用

- らくらく学校図書館、らくらく図書館、こどもの図書館は何れも共通説明です。用語は”らくらく図書館”とします。
- ネットワークの設定や運用管理はユーザー様で行ってください。
- らくらく図書館でのネットワークでの運用はデータファイル共有型ですが、小規模運用の場合は十分活用できます。
- データのバックアップもNBookフォルダをコピーするだけです。

はじめに

- “らくらく学校図書館”のデータは、“NBook”というフォルダの中にあります。
- このソフトの基本的な運用はデータパス名を次の例のように設定して運用しますが、下記に説明する方法でネットワークでの運用も可能です。

データパス名

C:\NBook\

ローカルPCでのデータパス名

例1) ローカルパスの場合 C:\NBook\

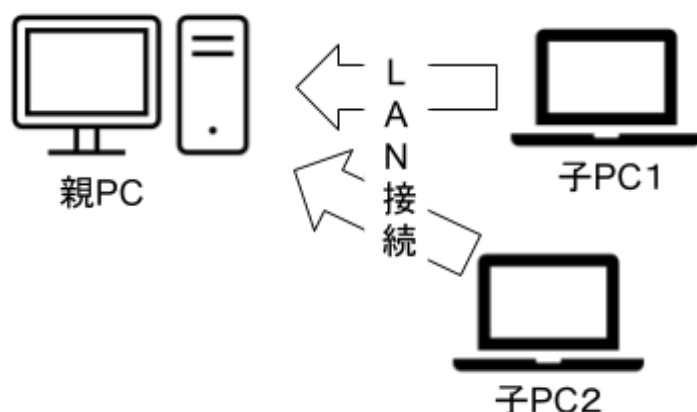
例1) ネットワークの場合 \\ネットワークパス名\NBook\

指定した場所にデータフォルダがない場合は、新規にデータフォルダが作成されます。

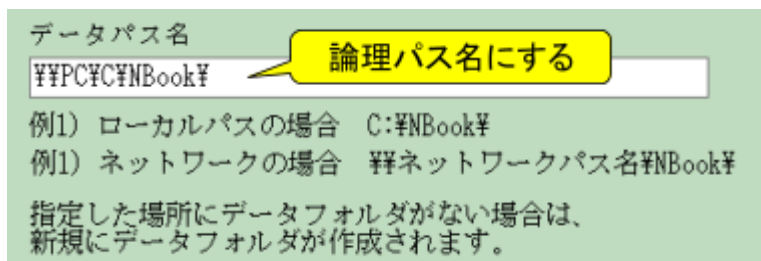
データ共有による運用

親パソコンをネットワークで共有して使う場合

- ネットワーク上のパソコンから図書館ソフト(NBook)がある親パソコン(ホスト)に複数の子パソコン(ゲスト)を繋いで運用出来ます。
- 活用例として、親パソコンは”らくらく図書館”で運用して、学童・生徒などが使うパソコン(子パソコン)には”貸出返却”ソフトや”図書検索”ソフトを入れます。



- たとえば、親パソコンのネットワーク名が”PC”とすると、子パソコンから親パソコンが接続していることを確認して、データパス名を次のようにしてください。

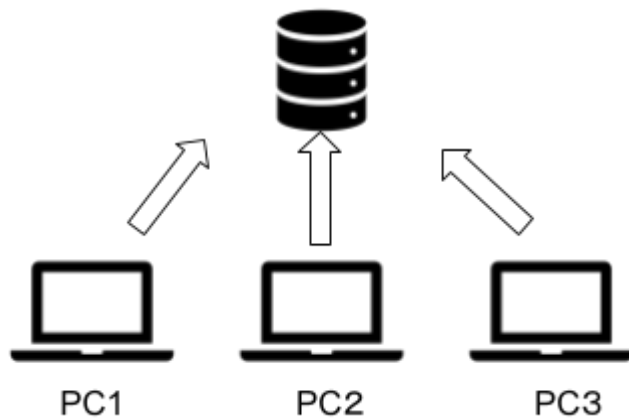


【注意点】

- ☐ 子パソコンから親パソコンへの読み込みや書き込みの権限が無いとエラーが発生します。
子パソコンのネットワーク(エクスプローラ)で、親パソコンの中にある”NBook”フォルダーがあることを確認してください。
- ☐ 親パソコンを先に起動してから子パソコンの起動をおこなってください。
親パソコンが起動していないとエラーになります。
- ☐ データは”NBook”の中にあります。このフォルダを必ずバックアップコピーを行いながら運用してください。
- ☐ 親パソコンのデータパス名はローカルPCの設定のままで大丈夫です。

ファイルサーバーで運用

- ファイルサーバーを用意してください。
WindowsサーバーのほかにNASなどリナックスOSでも使用できます。



- サーバーの中に“NBook”フォルダを置いてください。
- “NBook”フォルダを共有することで運用できます。
データパス名は、下記例のように論理パス名で指定してください。
- 運用上の注意事項は2-1の説明と同じです。

データパス名

¥¥server¥share¥NBook¥ ← 論理パス名

例1) ローカルパスの場合 C:¥NBook¥

例1) ネットワークの場合 ¥ネットワークパス名¥NBook¥

指定した場所にデータフォルダがない場合は、
新規にデータフォルダが作成されます。

補足

- 貸出返却ソフト、検索ソフトは弊社HPからダウンロードをしてください。
<https://www.ssdesign.co.jp/tyo/>

使い方などは別紙を参照してください。